

# 長野市芸術文化振興基金助成金 実施報告書

団体名	写団 M
事業名	第40回 『写団M』 写真展

## 事業内容

### ○目的

- ・会員が主に長野県の風景をカメラに収め、その中から一人3点を展示した。
- ・来場者が撮影した場所の美しさに感動し、その場所へ行ってみたいという気持を抱く事をねらった。
- ・来場者の感想やアドバイスに対して、会員一人ひとりが素直な気持ちで受け止め、撮影技法の向上や感性を磨くことに意欲を持って取り組むことをねらった。

○日時：令和8年3月12～17日（6日間）

○会場：ギャラリープラザ長野

○内容：会員の写真（全紙）の展示 38点

○例会：毎月第一木曜日に開催

○作品搬入：3/11

○作品搬出：3/17

## 実施状況



(写真搬入と飾り付け)



(スポットライト取付け)



(作品を見入る来場者)

## 事業の成果

○来場者数 334名（6日間）

○来場者感想

- ・朝早くに出かけ、朝の光の美しさを求めて撮影しようとした姿に感服した。
- ・素晴らしい写真が多くありレベルの高い作品が多く、日夜努力されていることが分かった。
- ・普段何気なく見ている場所なのに、時刻、見方を変えると美しい場所に変身して驚いた。

という感想をいただいた。

○上記の感想を受け、会員は「以後皆さんに喜んで戴ける作品作りにしたい」という決意を新たに持った。

## 今後の取り組み

○43回という長きに渡る展覧会を開催してきたが、「印象に残る写真作品づくり」をさらに目指して行きたい。

○会員の年齢が上がってきたが、年齢に負けることなくライフワークである写真撮影に意欲を出していく。

○講師の先生の助言を受け止めるだけに終始しがちであるが、「自らの撮影の意図を明確に持つ」ことを身につけるようにしていきたい。そのためには、意図して撮りたかった説明を例会の度に実施していきたい。



(ギャラリートーク)